

センターだより なつしい

第 112 号 令和6年3月15日 編集発行:夏井市民センター ☎ 53-2581

持ち込み企画

「旧ひな祭り 展示会」開催・作品募集！

旧暦の3月3日である4月11日に合わせ、作品の展示会を開催します。

みんなで手作りのものを持ち寄って飾り、桃の節句を楽しみましょう♪

展示会はどなたでもご覧いただけますのでどうぞご来場ください

展示期間 4月5日(金)～4月11日(木)

時間 10時00～16時00分

場所 夏井市民センター 和室

展示作品 手作りの作品がありましたらお貸しくださるようお願い致します。昨年作った帯締めのつるし飾りがありましたらお貸しくください。

作品持ち込み 展示準備日の4月3日(水)までに夏井市民センターへお持ちください。

返却は、4月11日16時以降となります。

企画 野中テイ子さん



実施報告 持ち込み企画

「七宝まりしっぽうを作ろう」

3月5日と12日に13人で七宝まり作りをしました。初回予定の2月27日が大雪だったため延期しての開催です。

大・中・小の好きなサイズの型紙を選び、手持ちの着物など持ち寄った布をあげたりもらったりしながら、布の色合わせを楽しんで作りました。

1個のまりを作るのに、同じ物を12個作らねばならず、根気のいる作業ですが、参加者の皆さんは「まりの他にも平らに並べたタペストリーを作ろうか」、など意欲的に作業を進めています。

参加者は、この後も4月の展示会↑に向けて作り続けて完成させます。

どうぞお楽しみに！

講師・企画 野中テイ子さん





衣類のバザーへのご協力 ありがとうございました

1月から取り組んできた衣類のバザーに皆様から多くのご協力をいただき、お陰様で世界の子供たちに**ポリオワクチン 20人分**を届けることができました。また、下記のとおり募金ことができました。厚く感謝申し上げます。

衣類のバザーにより、自分にとって不要な物が必要とする誰かに活かされ、「物を無駄にしないこと」、そして**SDGs (エスディージーズ) の「つくる責任 使う責任」**を身近に感じ**CO₂(二酸化炭素)削減**にも協力することができました。

残った衣類は、「古着 de ワクチン専用回収キット」により開発途上国へ送られ雇用を生み出すことにつながるほか、「久慈市古着回収 BOX」のリサイクル先へ搬送します。

この衣類のバザーは初期の目的を達成したことから今年度で一旦終了とさせていただきます。また皆さんから希望がありました際には行いたいと思います。

- * 寄付していただいた衣類 115.4 kg
- * バザーで新しい持ち主へ渡った衣類 49.7 kg
- * 古着 de ワクチン専用回収キットで送った衣類 25.0kg

バザー売上金 (4月開催のフリマ受託販売手数料440円含む)	12,199円
売上金使い道	「古着 de ワクチン専用回収キット」 2,980円
	「能登半島地震災害義援金」へ 5,000円
	「北三陸じもっと基金」募金箱へ 4,219円



～ 地域の情報コーナー

「田沢女性部解散ご苦労会」が行われました

田沢女性部は令和6年に解散することになり、3月3日に解散ご苦労会を開催しました。

発起人の前田トヨさんから、これまでの女性部の活動・活躍（トヨさんが66年前嫁に来たばかりの頃、「踊りさ出るのだじょうよ」と言われ、わからず泣きそうになりながらも格好はどうであれ頭数になればと同様の仲間とワイワイ参加し充実した夏井町民盆踊り大会、秋祭りでは市婦協として久慈湾小唄・農協女性部としてナニヤドヤラに出演、センターの花壇づくりに向け花苗を千本以上育て「市の花いっぱいコンクールで優勝」等）を紹介した後、市婦協、平山婦人会含め長年活動にご尽力されてきた前田フヂエさん、田沢ツギノさんに対し、感謝状を贈呈しました。



坂町内会長からは、「今後は敬老会など様々な活動をどのように協力していくか、意見を出し合ひましょう」と挨拶。出席者は、これまでの活動されてきた方々を称え、皆でお食事しながら交流を図りました。



夏井町各地区で、女性部解散の動きが出てきています。先人の方々のこれまでの活動・ご活躍に対し、敬意を表します。大変お疲れ様でした。

今後は、町内会の一部として、新たなかたちで、活動をしていくとのことでした。

今後は、町内会の一部として、新たなかたちで、活動をしていくとのことでした。